



第 39 号

平成24年1月1日

(発行)
(公・社) 江田島市シルバ－
人 材 セ ン タ ー

江田島市江田島町中央1-15-15
江田島市シルバ－ワークプラザ
TEL (0823) 42-5211
FAX (0823) 42-5051



新年のごあいさつ

理事長 田口 宜久

新年明けましておめでとうございます。
昨年、当シルバー人材センターに対し格別のご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も旧年に倍して、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は3・11宮城県沖で発生した未曾有の大震災、津波と東電の原発事故とそれに起因する様々な事故により大変な年となりました。

しかし「がんばろう 東北!!」「絆、日本」のキャッチフレーズのもと国の内外から多くの義援金やボランティア活動による支援の輪が拡がり、復旧・復興にはずみが付いたものと思われまふ。当シルバー人材センターでも些少ではありますが4万3千89円の義援金を拠出したところです。

反面、「なでしこジャパン」と言われるサッカー女子チームの世界一達成と明るいニュースで、日本国中に笑顔を与えてくれました。

次に我が国の経済状況は、政治の不安定さに加えて震災の影響による生産活動の停滞と、加えてアメリカ経済の混迷とヨーロッパ経済の混乱によるマイナスイメージによる一層の低迷により、輸出依存型の我が国にとって大変厳しい状況となり、着実な回復の足取りは確認されていないとのこと。これら関係各国の一日も早い経済の立て直し努力が必要と考えられます。

そうした中、当シルバー人材では持続可能な組織であるために「自助・自立・共同・共助」の基本理念のもと財源確保のため会員の増加と受注事業拡大を目標に本年も役員一同頑張つて行きたいと思ひます。どうか皆様これまで以上にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びとなりましたが、本年も皆様方にとって、健康で希望と期待の持てる年であることを祈念申し上げます。



江田島市長 田中 達美

新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。シルバー人材センターの皆様におかれましては、明るい希望に満ちた新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から本市行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年3月11日に起きた東北大震災は、我が国において未曾有の大被害をもたらしました。老若男女



江田島市議会議長 上田 正

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。公益社団法人江田島市シルバー人材センターの会員の皆様には、ご家族共々健やかに平成24年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、市議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。近年、我が国では、少子高齢化等が引き起こした人口減少のもとで団塊の世代が定年を迎え、労働力不足をはじめとした労働環境が大きく変化しつつあります。

の命、そして住み慣れた家を一瞬にして奪った大津波の恐ろしさは、日本だけでなく世界中を震撼させたニュースとなりました。「命あつてのものだね」という言葉がとつさに思い浮かび、このような状況の中で、被害者の方々はどうされているのかと胸が押しつぶされるような思いでした。しかし、被災地の高齢者の方々が次第に東北の元氣を取り戻そうと立ち上がる姿を拝見し、改めてシルバー世代のパワーの頼もしさを感じました。

本市では、「江田島市総合計画」において、高齢者がいきいきと楽しく暮らせる環境づくりを推進することとしております。高齢者の就業対策

シルバー世代の皆様には、これまでの人生経験を活かして誰もが意欲と誇りを持って年齢にかかわらず地域社会の新たな担い手となって、さらにご活躍いただくことが望まれています。

このような状況の中、貴センターにおかれましては、会員数約240人を数え、順調に業績を伸ばしておられますことは、センターの運営にあたってこられました役職員の皆様の日常のご努力はもとより、会員の皆様の熱意あるお取り組みの成果であると存じます。

心から敬意を表する次第でございます。今後も貴センターの理念であります「自主・自立・共働・共助」の精

策の充実を図るため、貴センターへの支援などに努めて参ることとしております。

終わりに、貴センターの会員の皆様におかれましては、常に安全就業に心がけ、いつまでもご健健で、ますますご活躍されることを祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



神のもと助け合いの輪をますます広げていただき、一人でも多くのシルバー世代の方々が就業の機会に恵まれ健康で生きがいのある生活を実現され、本市の活力ある地域社会づくりにより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしまして、現下の厳しい社会経済情勢の中、本年を希望に満ちた一年とするために、議会の権能をより一層高め、市当局・関係機関及び市民の皆様と一体となつて取り組んでまいりる所存であります。年頭にあたり、公益社団法人江田島市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事会が開催されました

第3回理事会平成23年7月5日(火)・第4回理事会平成23年10月31日(月)いずれも13時30分からシルバークセンターで開催されました。

第3回理事会審議事項等

- 諸報告 職務の執行状況
- 議案第8号

理事総務・企画部会委員の承認について

- 議案第9号

職員退職金規程の一部を改正する規程について

- その他

7月2日に発生した人身事故を受けて、安全就業対策について話し合われました。

第4回理事会審議事項等

- 諸報告 職務の執行状況
- 議案第10号

職員の給与規程の一部を改正する規程(案)について

- 議案第11号

平成23年度収支補正予算(第1号)案について

- 議案第12号

新規加入会員について

- その他

江田島市シルバー人材センター発足10周年記念行事について話し合わせ、次回は、予算案、実行委員会規約、実行委員等の原案を作成し検討することになりました。

作業はお互いに励まし合い

・・・熱中症には十分気をつけて・・・

7月13日の午後、センターの会議室で班長会と合同の安全会議がもたれました。

最初に理事長が「安全安心は家族の方の切なる要望です。だから作業はお互いに励まし合って行い、熱中症には十分気をつけましょう。7月に梅雨明け宣言が出た事ですから」とあいさつ、次いで、事務局長の司会で会議が始まりました。

1 事故報告について

事務局長（以下「局長」） 7月2日、沖美町で転倒、右側頭部を打ち、意識不明の状態です。しかし今、自己呼吸できるまでに回復してきています。事故当時ヘルメットを着用していませんでした。これからは作業前のミーティングの時、お互いに注意し合うことを必ず守ってください。また、草刈等の作業ではお互いに十分に間隔を取って行うようにしてください。



上向井 その

れはできません。

「参加者全員が「できます」」
局長 体調がすぐれない時は休むことです。

参加者 みんなが心配りをする事です。

局長 草刈機を数人で使っている場所では、お互いに十分間隔を取って作業をしてほしい。

上向井 班長1人では全体を見きれないので、副班長を置いたらどうですか。

局長 副班長は置いてほしい。そしてその人の氏名を事務局に届けてほしい。

上向井 班長が休んだ時は副班長が皆をまとめるべきだと思います。班長が休んでいても作業が出来るようにしておくことが大切ではないかと思えます。

局長 届けてもらった副班長の氏名を事務局に掲示します。
加藤 それをしてみても、考えましよう。

2 熱中症対策について

局長 消防署の方から、熱中症対策を十分考えて作業をしてほしい、という話があった。また、作業中熱中症にかかったらすぐ救急車を呼ぶようにとも。今月28日に安全



講習会を持つので、今日出席されている人は全員これに参加してください。また、遮光ベストを上着の上に着て作業することも良いと思う。ベストは

一着1680円です。
局長 作業に付く前に、第1と第2体操をし、体をほぐすといっています。

この後、全員でラジオ体操を行いました。

3 自動車運転について

局長 現在、自分の車で作業現場に行くに5000円支給していましたが、支給することをやめようという声が出ています。シルバー人材センターの車を使い、顧客から10000円をいただく。そのうち5000円は事務局、残り5000円は会員の収入になります。事務局に入る5000円はガンリン代などに使います。

上向井 シルバー人材センターの車でなく、自分の車で行っても5000円支給されるのですか。
局長 支給します。この事は理事会で決めています。

4 草刈機の持ちだしについて

局長 これからは、シルバークロスの草刈機などの持ち出しは、

氏名の確認を事務局が行うようにします。

局長 安全パトロールについて
局長 抜き打ちで行う予定にしています。また、7月20日の県安全講習会に参加してください。いま5名の方が申し出ています。

局長 その他
局長 能美の長瀬海岸の清掃は7月16日から行います。トイレの清掃もありますのでよろしくお願います。

事務局だより

剪定実技講習会のお知らせ

次のとおり講習会を開催します。既に剪定作業に従事しておられる方、新しくチャレンジしてみたい方など多数ご参加をお待ちしています。

一、日時
平成24年2月14日(火)・15日(水)
の2日間午前10時から午後4時まで

一、場所
旧秋月小学校（江田島町秋月2丁目）

一、講師
広島市佐伯区湯木町造園業 宮内 民夫先生

参加をご希望の方は、2月7日(火)までに、事務局（電話0823-421521）へご連絡ください。

枝豆がよく

売れました



7月30日の午後5時から、小用のポトプラザで土曜夜市が開催されました。シルバー人材センターは枝豆、カボチャ、ナス、ホウレン草、トウモロコシを出品し、綿菓子をつくる機器2台を設けて参加しました。私が訪れた時は売り場の準備の最中。宇根川さん達が屋台の照明のためのコードを張っている最中でした。屋台のテントは2列、その間の広場に休憩用のテーブルと椅子が7つ配置されていました。

午後5時、開会の宣言がありました。だが、その前に来ていたおばあさん達が枝豆(1束100円)を買って

支える仲間

8月2日午後5時過ぎ、海上自衛隊第1術科学校内のシルバーの売店を訪ね、早速お弁当を買いました。

シルバーの出し物のうち綿菓子は機器を2台据えています。時々子供が来て買っていきます。炊き込みご飯の「仕込み」は昨日から加藤さんを中心に、また、

サマーフェスタ

江田島

あたりはまだ明るく、呉の花火はもう少し後のようでした。

行きます。枝豆はよく売れましたが、カボチャの売れ行きはあまりよくありません。夕食に「炊き込みご飯」と思っていましたら「今日はありません。8月2日のサマーフェスタの際にはあります。」との返事。やむを得ず「焼きそば」を2人分(2パック)買いました。

広場はそよ風で涼しく、呉の花火を見るには絶好のコンディション。シルバーの席でイカのゲソをかじっていると橋本さんに手作りのおにぎりをいただき、おながが一杯になりました。6時過ぎた頃から子供連れ親の姿がふえ、綿菓子が売れ始めます。



シャレオで竹炭を販売

予想以上の売り上げ

8月28日(日)広島市シルバー人材セ

今朝も8時半から準備をし、この会場に来たのは4時半過ぎとのことです。(私はこのご飯が好きで毎年買います)

カキ氷とソーメンの評判はよく、売り場の前にお客が並びます。ソーメンの具は油揚げ、椎茸、かまぼこにネギ。売り場の加藤さん達は楽しそうに接客しています。一杯200円のカキ氷もよく出ています。

5時半過ぎ、景気づけの花火が揚ります。

二井さんは「出品したものが全部売れるといいですね。」と期待を語ってくれました。



センター設立30周年記念事業「シルバーア」が広島市中区紙屋町シヤレオ中央広場で開催され

ました。江田島市シルバー人材センターでは、広島市シルバー人材センターの出店の呼びかけに賛同し、出店することとしました。出店では、竹炭に関する商品を販売し、森合さん、篠島さん、江田島市商工観光課加島主事、小生が販売従事をしました。

当日は、江田島市を早めに出発し、午前9時40分には出店準備が完了し、販売を開始しました。地下街であり雨の心配がなく、人通りも多く、他市町から竹炭の販売もなく、また、加島主事の若い声が響き、店の雰囲気や和らげ、多くの来客があり、予想以上の売り上げがありました。

今後、この様な機会をとらえて、江田島市の竹炭の販売とシルバー人材センターのPRをしたいと考えています。

気仙沼の「サンマ」は 脂がのってうまかった

フェスティバル江田島2011は、11月20日の日曜日、恒例の国立江田島青少年交流の家で、三高中学校3年生三浦楓様が考案した「つなぐれ江田島 輝け笑顔」をテーマにして開催されました。

広場では、江田島市が、市所有のフェリー1隻を宮城県気仙沼市の大島汽船に無償貸与している「お札」として、気仙沼産の「サンマ2千匹」がふるまわれ、1日中脂がのったサンマの香ばしい匂いと、煙に包まれていました。会場は、市内の中学生吹奏楽や子ども太鼓演奏などがあり、来場者をもてなしていました。元相撲取りで、小兵力士で名をはせたNHK相撲解説者「舞の海」の



われら町を

講演は、話し上手で業界の裏話も聞けておもしろかったです。

研修棟では、シルバー人材センター恒例のお手玉・竹細工教室を開催、親子で竹笛や竹トンボ作りに挑戦していました。



また、広場のテナントブースに出店したシルバー人材センターは、うどん、炊き込みごはん、しし汁や綿菓子を販売。テントの前

の販売し、役員、会員は1日中忙しく動き回っていました。私は会員売りの笑顔で、炊き込みごはん二つとホウレン草を買いました。午後2時半頃会場を後にしましたが、そのときはサンマに並ぶ列も短くなっていました。

恒例の奉仕活動に

参加して

10月15日(土)午前9時から江田島市



役所前から、シルバー会員83人が参加して高田方面、鹿川方面、江南方面の3班に分かれて沿道沿いを清掃して回りました。

田口理事長、田中市長の「ゴミのない、綺麗でまた行ってみよう」と言われるような江田島にしたい」等の挨拶がありました。事務局からの注意事項などがあり、用意されたノコ鎌、火ばし、ビニール袋のどれか一つをもって、青袋には燃えるゴミを、黒袋には燃えないゴミを拾って歩きました。

田中市長は、鹿川方面、私は江南方面で、登地さんと一緒にした。

今までの経験で沿道や植え込みの中に吸殻、紙くず、空き缶、空き瓶などを拾うのにしゃがんだり立つたりしなければならぬので、私は火ばしを持って歩きました。しかし、今年はほとんどゴミがなく、その代わり雑草が多く生えており、しゃがみ込んで取らなくてはならないので、とんだ思わく違いとなりました。(ゴミが少ないという事は市民のマナーが向上したという事はか?) 雑草は手でむしって取っては捨って行かなければならないので、これは大変で腰が痛みました。

事務局長等、ノコ鎌の人たちはサッサと手早く刈って進まれるので、私はそれらを青ビニール袋に入れたり、持って歩き回収して行きました。能美ロッジとの中間にある休憩所に自転車の壊れたのが投げ捨ててあり撤去しようとする中、「大型ゴミは今日は駄目」との事でしたが、美観を損ねるし汚いので、車の担当の会員さんをお願いして車に積み込んだり、又歩道にあるつつじの植え込みには、つるがぐるぐる巻きになったものも多くあり、むしり取ったりして進みました。

大勢

の力はすごいもので、能美ロッジ入口までを意外と早く簡単に綺麗にすることができました。1時間余り清掃して全員が市役所の前に集まり、登地監事の解散の挨拶で終了しました。帰りながら江田島のために「少しはよい事をしたわい」と思い、気分の良い一日でした。



鯉のぼりから 震災復興のメール

大柿町飛渡瀬の江田島内海沿いに、海風に泳ぐ「こいのぼり」は、地元の曳船業を営むHさんとカキ養殖しているKさんの二人が、「地域活性化の一つになれば」と発案して自らお金を拠出し、それに鉄工所、土建業の人や有志が賛同して揚げる事ができました。

昨年「こいのぼり」を揚げる時節前3月11日に、東日本大震災が発生し、宮城県・岩手県・福島県の沿岸部は、2万人近い人が犠牲になる大津波に襲われました。

Kさんは、宮城県石巻市の湾内で、種ガキ養殖を続け、Kさんに種ガキを供給している近藤さんと震災から一か月も経つのに連絡が取れませんでした。津波にのみ込まれたのではないかと心配をされており、今年は「こいのぼり」を揚げるのは気が進まないようでした。

それで私達は、東日本の復興の願いを込めて「いっしょにがんばろう」の標語を掲げて「こいのぼり」を揚げました。(シルバ－江田島第38号に掲載)

5月連休前にKさんは、やっと近藤さんと連絡が取れ「この5月に江田島へ休養を兼ねて旅行しないか」と近藤さんを誘いました。



石巻市から近藤さんご夫婦が江田島に来られ、「いっしょにがんばろう」の標語幕の前に立ち、「もう一度頑張ってみよう」と言葉を発表され感謝のお礼を述べられました。

今季の種ガキ出荷シーズンに、近藤さん達が育成する宮城県産の種ガキが一部広島にも供給されていることを聞き、こいのぼり会員の復興メールが届いたようで喜んでいました。

義援金は勿論のことですが、江田島市は、フェリー「ドリームの

うみ」を復興支援で、宮城県気仙沼市の大島汽船に無償貸与して、復興のメールを送っています。

安全就業講習会を開催

平成23年7月28日、大柿老人福祉センター2階大会議室で、安全就業講習会を開催しました。

副理事長の挨拶の後、現在シルバ－人材センターの会員である、上向井裕三元消防救急隊員による「毒蛇、蜂、熱中症の応急処置」の講習、ビデオによる「高齢者の交通安全」の上映、最後に安全委員会委員長の加藤孝右会員の閉会の挨拶、参加者は48名でした。

参加者全員に熱中症予防品「塩アメ」を配付しました。



ふれあい産業まつりに 初参加!!



10月16日(日)みかんマラソンに併設されて毎年開催されている「ふれあい産業まつり」に初めて出店し、綿菓子と野菜を販売しました。

中町産のレンコンに人気があり、一番早く売り切れました。他にも、里芋・ネギ・ツルムラサキ・すだちなどが完売。

綿菓子は、2台の機器を用意しましたが、1台が不調、残る1台が休み間もなくフル稼働しました。

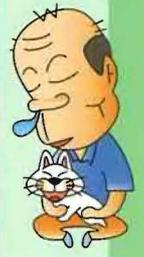
また、無料配布のチップも大人気で、マラソンがスタートする前に100袋が全て無くなりました。

初参加のふれあい産業まつりに大きな手ごたえを感じた1日でした。

保健師さんの
アドバイス

高齢者の健康管理シリーズ 33

快眠上手は元気上手



都会は「眠らない社会」と言われるように、現代社会の環境は夜型化しています。この島内でも24時間営業のコンビニも珍しくなくなりまして。睡眠時間が世界で一番短いのは日本人。また、「寝つきが悪い」「夜中に目が覚める」「朝早く目が覚める」「寝ているのに熟睡感がない」など睡眠に何らかの課題が有る人が増えていきます。

そもそも、眠っている間に脳では記憶や感情の整理をし、免疫細胞が体内を点検してくれます。成長ホルモンは脳や体の成長と内臓の回復を助けてくれます。しかもこの成長ホルモンは、入眠後、深い眠りに入った時の3時間の間しか分泌されないのです。また、暗くなり「夜」だと感じ取った脳は、睡眠物質を分泌させて、心を落ち着かせて眠りを安定にしてくれます。その他にも、快適に目覚めさせて、起きてから意欲を出す準備などを行っています。

このようなメンテナン作業が滞ると、病気への抵抗力が弱くなり、糖尿病への抵抗力が弱くなり、糖病・高血圧を悪化させたり、認知症やうつ病などの心の病気を引き起こすことにもなります。また、注意力や集中力が低下して転倒や骨折などの事故につながります。

「たかが睡眠」とあなどらず、快眠上手になって、今年も心身ともに元気に過ごしましょう。

睡眠〇×クイズ

① まぶしいので、朝起きてすぐカーテンを開けない方がよい？
正解は・・・×

私達の体内時計は脳と腹(胃)にあり、約25時間周期。太陽の光をしつかり浴びることで脳の体内時計を24時間に修正し、食事をとることで腹時計にスイッチが入ります。よく噛むこと・運動・人と会って接触することも同じ効果が。太陽の光の入る明るいと場所ですっきり噛んで朝食を取りましょう！
極端な早寝早起きの人は、逆に夕方に光を浴びると快眠に効果的。

② 睡眠時間は8時間がちょうどよい？
正解は・・・×

睡眠時間には個人差が有り、6〜8時間が一般的といわれていますが、長ければ良い睡眠とも限りません。自分に合った睡眠時間を規則的に続けることが大事。睡眠は量より質が重要。寝だめはできません。※自分にぴったりの睡眠時間を見つけるコツは、翌日の体調・頭の冴

えを目安に！
③ 昼寝は1時間がちょうど良い？
正解は・・・×

眠くなったら午後1時から3時までの間に30分の短い昼寝が有効。※認知症を5分の1に減らす効果も。
昼寝の習慣の無い人も、目をとじるだけでも効果あり！
人間の脳は半分以上が目からの刺激で働いているので脳の休息になる。

※長く寝てしまいたいときは・・・
・深い眠りにならないよう、完全に横にならず、明るい部屋で椅子にもたれて寝る。
・お茶などカフェインを飲んで仮眠すると、20〜30分で動き始めるので、昼寝が終わると頃にちようどすつきり目覚められる。

④ 夕方以降は居眠り・仮眠をしない方がよい？
正解は・・・○

夜しつかりと眠るために、寝たい睡眠時間だけは、就寝時刻の前に目を覚ましとくことが大切。夕方に軽い運動や散歩をするなど、しっかりと人と関わり活動すること！

⑤ 寝ているときは体温が上がっている？
正解は・・・×

体全体が温めれば気持ちよく眠れると思われがちですが、体は体温を下げて眠りの準備をします。眠ると手足が温かいのは手足から熱を放散

しているからです。人は体温の降下と共に眠り、上昇と共に目覚めます。そのため、温めのお風呂が寝つきをよくしてくれます。どうしても「熱いお風呂」がいい人は、眠る3時間前に入りましょう。

【冷え性の方の快眠お勧めグッズ】
○電気毛布・電気あんか(寝る前だけ、または1時間のタイマーを)
寝ている間ずっと温かいままでは逆に体温の低下を妨げることに。温度が徐々に下がって行くものがベスト。
○湯たんぽ

寝入る時温かく、徐々に湯が冷め理にかなっていている。エコにもぴたり。
○靴下(すぐ脱げるもの)
○蒸したタオルを眼の上に(血流がよくなる)

⑥ 眠れない時は寝床から一旦離れる方がよい？
正解は・・・○

無理して寝ようとしても、眠れないことがストレスになって脳が興奮。
気分転換して就寝時刻にこだわらず、眠くなったときに寝床へ。
明るい光は体が「夜」と感じにくく、睡眠物質がなくなり、活動から休息へのスイッチが切り替わらないので快眠の妨げに。入浴後は照明を少し落とすと効果的。眠る時に、テレビ等の付けっぱなしにも注意を。

平成23年度

互助会親睦旅行に参加して

23年度のシルバ－人材センター互助会の親睦旅行は、11月23日(水)24日(木)の両日で実施されました。

行先は、「但馬の小京都出石」と「暗夜行路」にもでる、「大乘寺・湯村温泉」(兵庫県)と「用瀬の流しびなの館」を巡る旅でした。

まず、出発当日の朝は、雲がたれこめ、今にも泣き出しそうな天気でしたが・・・

午前7時、バスで江田島市シルバ－センターを出発。島の中央部を



反時計回りで、参加者を乗せて回り、最後は大君で1名を乗せ総勢40名(女性会員8名)で、予定より少し遅れて、早瀬大橋を渡る。8時10分頃、互助会長今宮氏の、簡略でユーモアのある挨拶があり、楽しい旅の幕が切つて落とされました。その頃雨が、ポツポツと落ちてきました。大したことはありませんでした。

車は、クレアライン、広島高速1号を通り広島東ICを抜け山陽道に出ました。

小谷のSAで、トイレ休憩。予定より30分遅れ。次は、吉備SAまでひたすら走る。播但連絡道に入り、最初の見学地「但馬の小京都(出石辰鼓櫓)」に到着し、街並み等を散策しました。次は、今回待望の夢千代の里、湯村温泉に4時40分頃到着、ホテル「とみや」で旅装を解きました。夕食まで少々時間があるので、街に出ました。皆が集まった所は、春來川が流れる「荒湯」。湯温98度で、温泉卵を作る遊びで、皆が童心に帰った様でした。

翌日、24日(木)は、この旅行の締めくくりに相応しい所に行く予定です。



ホテルを8時15分に出発。8時40分に「暗夜行路」にも出た「大乘寺」に着きましたが、強烈な雨が降っていました。このお寺は、江戸時代中期に建てられ、円山応挙と弟子12名が、襖絵を描き、見る位置によって、描写が変化して見えます。応挙の、構成主義的な感覚を遺憾なく発揮しており、全て国の重要文化財に指定されています。

この旅行の最後は、「用瀬流しびなの館」。室町時代約700年前、京都の金閣寺をモチーフにした大型木造建築で、内部の展示室には、各時代の雛人形・雛飾りなどが常設展示されています。

用瀬の流しびなは、旧暦の3月3日、男女一対の紙雛を棧俵に乗せ、

無病息災で1年間を幸せに生活できますようにと、願う民族行事。今でも続いていることが本当に素晴らしい。ここで2日間の予定は全て終了し、帰路に着きました。「用瀬」を2時過ぎに出発。帰路は行きと違う道でしたが、江田島に7時50分頃着きました。今度は、島を時計回りに回って、各所で会員さんが降り、無事に帰着しました。今旅行の総行程は約950kmでした。そこで、会長が終わりの挨拶で言われたが、「急ブレーキが1度もなし」と。運転手小野さんの卓越した技量と、強い責任感で事故も無く、無事に旅行が終わったことを、心から感謝します。

